

事業概要

各地域で運用されている多職種連携システムの違いに関わらず円滑に患者情報にアクセスできる共通ポータルサイトを構築し、広域的な連携を促進するとともに、病院との情報共有、病院間の連携にも活用

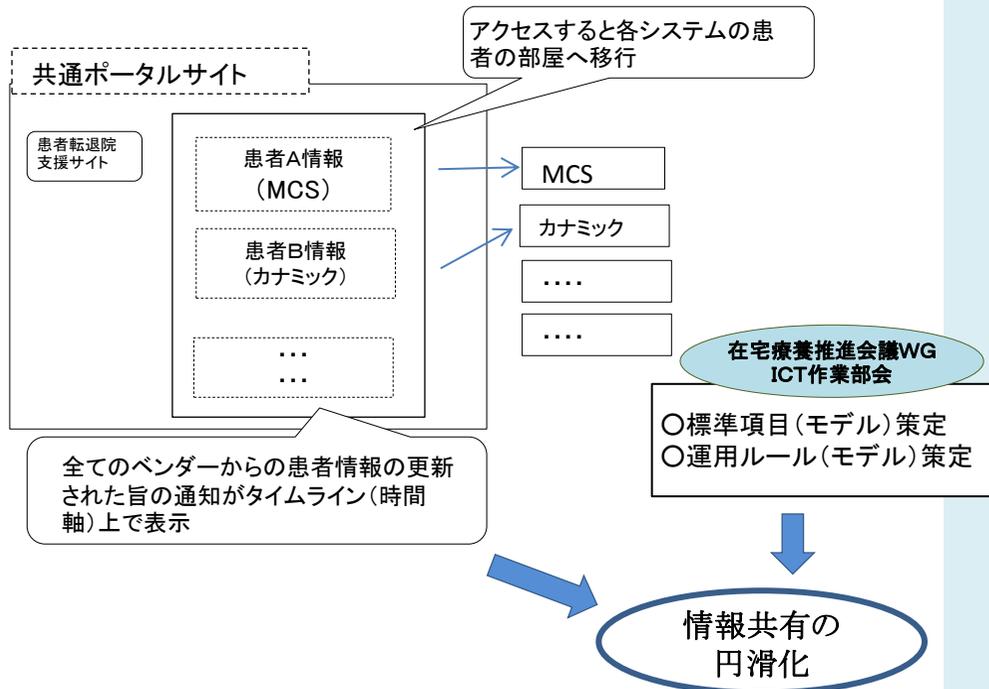
平成31年度予算案

30,288千円

事業内容

①多職種連携タイムライン（仮称）

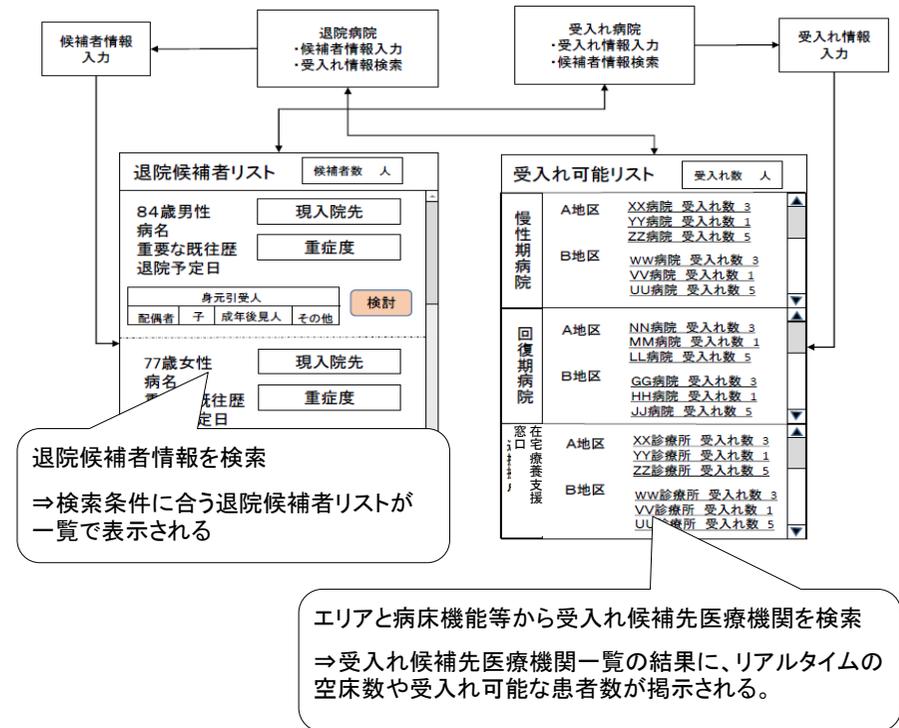
各システムにおいて患者情報が更新された旨を、ポータルサイト内のタイムライン上で通知を受け取ることができる。また、ポータルサイトから各システムへ移動することができ、異なるシステムを利用していても、各システムの患者情報への円滑なアクセスを可能にする。



②患者転退院支援サイト（仮称）

入院患者の転院先等を検索するに当たって、病床の空き状況等が確認ができる仕組みを構築し、よりスムーズな転退院支援等を可能にする。

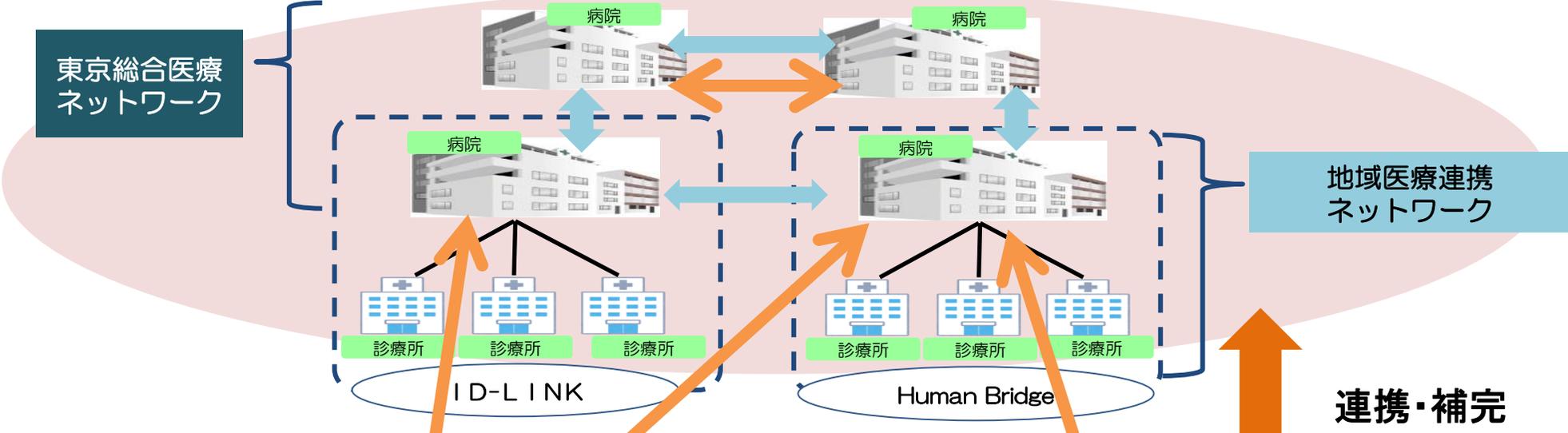
(イメージ)



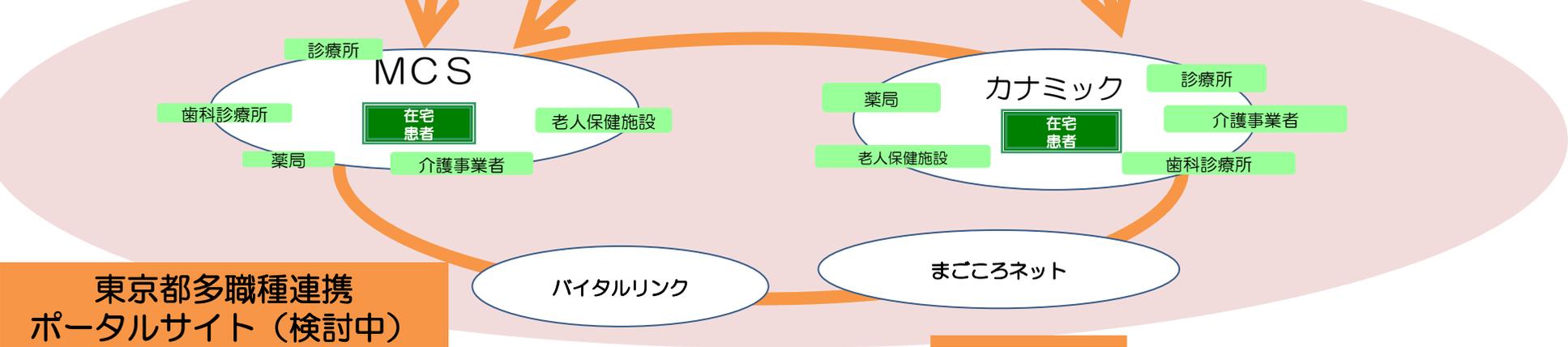
東京都が目指すICTを活用した医療・介護連携の姿

各々の情報共有システムが、その機能を相互に連携・補完しあいながら、患者を支える医療・介護の連携体制の充実が図られている

医療機関同士の情報共有 —電子カルテを利用した診療情報の相互参照—



地域の医療・介護関係者間の情報共有—多職種連携システムの活用—



ポータルサイト構築により連携が強化